

## トピックス

### ショールーム完成

本社・管理棟1階の接客スペースを改装し、製品を展示したショールームをオープンいたしました。



ショールームでは、お客様に見ていただき、実演していただき、感じていただけるスペースとして、新製品の展示・実演ならびに新旧型の比較など、当社製品をアピールできる場となっております。

今後は、情報発信拠点として製品発表会や工場視察時などに活用し、新たな当社のファン獲得を目指してまいります。また、お客様のニーズを把握し、新規顧客の開拓や新規用途の開発を進めてまいります。

## 会社概況

(平成29年3月31日現在)

商号	三相電機株式会社
設立	昭和32年10月11日
資本金	8億7,160万円
従業員数	566名(連結)
事業内容	小型モータおよび小型電動ポンプの製造・販売、金型の製造・販売

## 株式の状況

(平成29年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数	36,000,000株
発行済株式の総数	9,143,200株
株主数	514名
1単元の株式の数	1,000株

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】  
証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座をご利用がない株主様は、下記電話照会先までご連絡ください。

### 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

### 株主名簿管理人事務取扱場所

大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) (0120)782-031

(URL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告の方法 当社のホームページに掲載いたします。  
<http://www.sanso-elec.co.jp/ir/koukoku/>

上場証券取引所 株式会社東京証券取引所

### 三相電機株式会社

〒671-2288 兵庫県姫路市青山北一丁目1番1号  
TEL (079)266-1200 FAX (079)266-1206  
URL <http://www.sanso-elec.co.jp/>

## 株主のみなさまへ

第60期

# 株主通信

平成28年4月1日～平成29年3月31日



代表取締役社長 黒田直樹

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに2016年度(2016年4月1日から2017年3月31日まで)の営業の概況につきましてご報告申し上げます。

今後とも変わりにくいご支援、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成29年6月

 三相電機株式会社

証券コード 6518

## 営業の概況

### 業績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、企業収益や所得・雇用情勢の改善傾向が続く中で設備投資についても持ち直しの動きが見られるものの、中国をはじめとした新興国経済の減速、欧州の政治情勢の影響や米国の政策運営の変化、ならびに北朝鮮リスクの高まり等、海外情勢の不安定化を受け、景気の先行きに対する不透明感が強まっております。

当社グループにおいて、中国市場では空調設備の需要の伸びが徐々に鈍化したものの、日本市場では企業の設備投資が底堅く推移したことで、半導体製造装置用ポンプや工作機械装置用モータなどでは受注は堅調に推移いたしました。

このような事業環境の中、お客様の要望にきめ細かく対応することで顧客満足度の向上を図るとともに、新製品であるプレミアム効率モータの拡販や、プレミアム効率モータを採用したポンプの量産を行い収益改善を図るとともに、蓄積したノウハウと実績を活かした提案型の営業活動を推進してまいりました。また、ポンプの応用技術を用いたシステム商品の開発を進めており、一部の商品ではモニター販売を開始しております。更に、販売価格の見直しに取り組むとともに、部品加工の内製化や生産性の向上、幅広い原価低減を進め業績向上に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は139億48百万円（前期比104.2%）、営業利益は6億81百万円（同129.5%）、経常利益は7億74百万円（同126.3

%）となりました。また、株式会社岩谷電機製作所を子会社化したことに伴う負ののれん発生益を特別利益に計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益は8億7百万円（同121.7%）となりました。

### 今後の取り組み

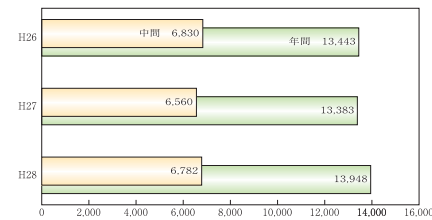
今後の業績見通しといたしまして、為替が円安傾向で推移した場合、原材料費の価格が高騰するとともに、海外子会社での生産コストが上昇いたします。このコスト変動にあわせた適正な販売価格とすることができなければ、今後の経営成績に影響を与える可能性があります。また、環境問題意識の高まりにより、顧客からはより省資源、低消費電力となる製品の要望が強く、小型・軽量・低消費電力となるモータやポンプの製品開発の優劣で、今後の受注が左右されます。

当社グループにおいては、環境に適合したエコロジー商品に注力し、省エネルギー、高効率のモータとポンプの製品開発を進め、プレミアム効率モータの拡販や、プレミアム効率モータを採用したポンプの量産を行い、企業競争力の強化を図ってまいります。また、モータやポンプの応用技術を活かした新たな製品を開発し、国内外の新規市場への開拓を進めてまいります。

## 連結業績の概要

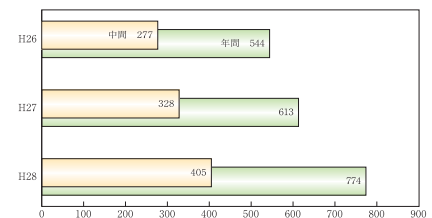
### 売上高

（単位：百万円）



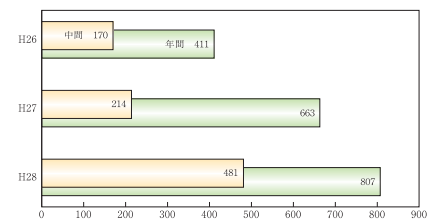
### 経常利益

（単位：百万円）



### 親会社株主に帰属する当期純利益

（単位：百万円）



### 要約連結貸借対照表

（単位：百万円）

科目	(平成29年 3月31日現在)
資産の部	
流動資産	10,273
固定資産	5,471
有形固定資産	3,778
無形固定資産	83
投資その他の資産	1,609
資産合計	15,745
負債の部	
流動負債	4,814
固定負債	3,224
負債合計	8,038
純資産の部	
株主資本	7,454
資本剰余金	871
資本剰余金	1,825
利益剰余金	4,799
自己株式	△42
その他の包括利益累計額	251
純資産合計	7,706
負債純資産合計	15,745

### 要約連結損益計算書

（単位：百万円）

科目	(自平成28年 4月1日 至平成29年 3月31日)
売上高	13,948
売上原価	11,072
売上総利益	2,875
販売費及び一般管理費	2,193
営業利益	681
営業外収益	116
営業外費用	23
経常利益	774
特別利益	195
特別損失	14
税金等調整前当期純利益	955
法人税、住民税及び事業税	184
法人税等調整額	△36
親会社株主に帰属する当期純利益	807